

【開催日時:令和7年11月20日(木)13:30~17:00】(会場:アクロス福岡)

九州の自然災害リスクを知る・学ぶをメインテーマとして活動を行う「九州減災シンポジウム実行委員会」において、「南海トラフ地震への備え」を語るシンポジウムを開催しました。この取組は、九州減災コンソーシアムの一環として実施され、昨年に続き2回目の開催となります。

・基調講演では、南海トラフ地震における想定被害状況等の説明があり、南海トラフの地震や津波だけでなく、その後の火災や大雨等との広域複合災害への備えを強調されるとともに、南海トラフ海底地震津波観測網N-net、南海トラフ巨大地震の発生確率等もご解説いただきました。
・パネルディスカッションでは、南海トラフへの各機関の備え・対応策、住民目線としての準備のあり方、各組織の連携等について意見交換を行い、**平常時の一人一人の災害に対する心構えを持つこと、そして災害後の復旧・復興まで考える意識を引き上げることが重要**とのコーディネーター三谷教授のご総括により当シンポジウムを締めくくりいただきました。

■主催:九州減災シンポジウム実行委員会

＜構成＞九州大学.九州地方整備局.福岡管区気象台.国土地理院九州地方測量部.NEXCO西日本(株).九州電力(株).福岡北九州高速道路公社.西部ガス(株).九州旅客鉄道(株).西日本電信電話(株).(株)NTTドコモ.KDDI(株).ソフトバンク(株).楽天モバイル.(株)Qtnet.(一社)九州地域づくり協会【事務局】

■参加総数:約305人(会場 約190人、オンライン 115人)

【プログラム】

- 挨拶 九州大学 名誉教授 松田 泰治氏
- 基調講演 「南海トラフ地震へどう備えるか」
香川大学 特任教授 金田 義行氏
- パネルディスカッション 「南海トラフ地震への備え」
コーディネーター ●三谷 泰浩氏(九州大学大学院教授)
パネリスト ●金田 義行氏(香川大学 特任教授)
●田中 俊憲氏(九州災害情報(報道)研究会幹事
〔㈱福岡放送 報道部 副部長〕)
●松田 豪紀氏(宮崎県 小林土木事務所長)
●福山 由朗氏(福岡管区気象台 業務課長)
●石橋 賢一氏(道路部 道路情報管理官)

○報道

参加社:FBS・西日本新聞・九建日報・建設工業新聞・建設通信新聞



▲挨拶 九州大学 松田名誉教授



▲コーディネーター 九州大学 三谷教授



▲会場参加者の状況



▲防災展示(10機関が展示)



▲パネルディスカッション



▲VR津波体験